

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮)特別養護老人ホーム藤花・荻川 (仮)荻川ほのぼの保育園複合施設 秋葉区 田島字江端109番地 他 準工業地域 学校, 病院, 2017年3月 竣工 3,313.49 m ² 1,522.82 m ² 2,102.97 m ² 地上2F S造 実施設計段階評価 2016年8月22日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{39.8}{39.8} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目名	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.3		バリアフリー	Q2.1.1.3	1.0
			維持管理	Q2.1.3	3.0
			更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.1
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	LR1.1	4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。
- 長寿命の取組み: バルコニー(庇)を設置し外壁材の劣化を抑制している。
 - 資源循環の取組み: リサイクル資材を採用し、部材の再利用を考慮した計画。
 - 新潟のまちなみへの取組み: 地域の活動上のアメニティの向上を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築（簡易版）2010年追補版（BEI対応）

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)特別養護老人ホーム藤花・荻川 (仮)荻川ほのぼの保育園複合施設	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市秋葉区	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	110人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	学校、病院、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 竣工	評価の実施日	2016年8月22日
敷地面積	3,313 m ²	作成者	武田昌和
建築面積	1,523 m ²	確認日	
延床面積	2,103 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 84%
③上記+②以外の 84%
④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

音環境	2.1
温熱環境	2.3
光・視環境	2.4
空気質環境	2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.7
耐用性	2.9
対応性	2.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.6
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 老人福祉施設と保育園の複合化により、単独の施設として整備するよりも機能の共有・多機能化を図ることができ、老人や園児に多様な居住環境と保育環境を創出するとともに、施設を有効的に活用できるように計画した。		その他
Q1 室内環境 入居者が利用する居室には十分な遮音性能を持たせる計画とした。	Q2 サービス性能 内装は木調の建材を計画し、間接照明も活用した空間づくりをしている。	Q3 室外環境 (敷地内) ピロティ空間を設けて、都市空間の活動上のアメニティ向上に貢献している。
LR1 エネルギー 空調するエリアは複層ガラスを採用し、建物の省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材を採用し、部材の再利用を考慮した計画としている。	LR3 敷地外環境 夏の卓越風に配慮した配置計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される